

◎ 指示があるまで開かないこと。

午後

(13時30分～16時)

## 注意事項

- 1 試験問題の数は110問で、解答時間は正味2時間30分である。
- 2 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題にはaからdまで4つの選択肢がある。そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) [問題 111] 県庁所在地はどれか。1つ選べ。	(例2) [問題 112] 県庁所在地はどれか。2つ選べ。
a 栃木市	a 宇都宮市
b 川崎市	b 川崎市
c 神戸市	c 神戸市
d 倉敷市	d 倉敷市

(例1)の正解は「c」であるから答案用紙の◎をマークすればよい。

答案用紙 たての場合				
111	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
			↓	
111	Ⓐ	Ⓑ	●	Ⓓ

答案用紙 よこの場合	
111	111
Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ
Ⓒ	●
Ⓓ	Ⓓ

(例2)の正解は「a」と「c」であるから答案用紙のⒶとⒸをマークすればよい。

答案用紙 たての場合				
112	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
			↓	
112	●	Ⓑ	●	Ⓓ

答案用紙 よこの場合	
112	112
Ⓐ	●
Ⓑ	Ⓑ
Ⓒ	●
Ⓓ	Ⓓ

- (2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。  
 良い解答の例・・・●(濃くマークすること。)  
 悪い解答の例・・・Ⓐ ⊖ ⊗ ●(解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「●」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) ア(例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。  
 イ(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないように特に注意すること。

〔問題 1〕 頭蓋骨の写真（別冊午後 No.1）を別に示す。  
矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 冠状縫合
- b 矢状縫合
- c 鱗状縫合
- d ラムダ縫合

別冊 午後 No.1 写真

〔問題 2〕 開口運動時に作用するのはどれか。1つ選べ。

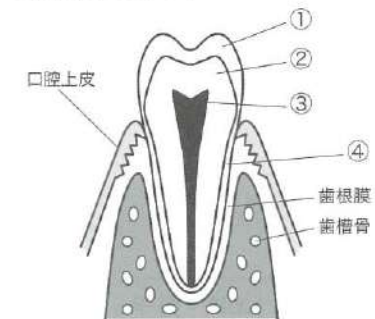
- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

〔問題 3〕 口腔内写真（別冊午後 No.2）を別に示す。  
矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 介在結節
- b 白歯結節
- c 中心結節
- d カラベリー結節

別冊 午後 No.2 写真

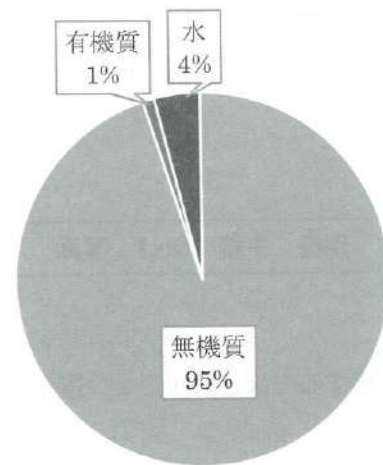
〔問題 4〕 歯と歯周組織の横断面を示す。



歯小囊から形成されるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

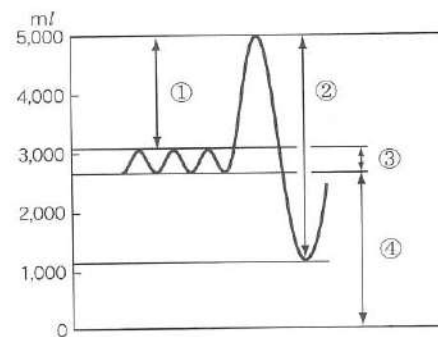
〔問題 5〕 図はある口腔組織の化学組成を示す。



該当するのはどれか。1つ選べ。

- a エナメル質
- b 象牙質
- c セメント質
- d 歯槽骨

〔問題 6〕 肺気量の区分 (スパイログラム) を図に示す。



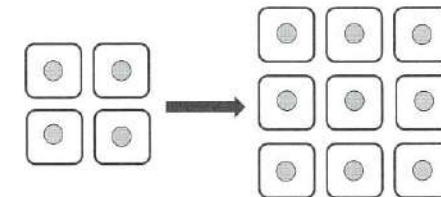
機能的残気量はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 7〕 交感神経の興奮で生じる反応はどれか。1つ選べ。

- a 瞳孔縮小
- b 心拍数減少
- c 気管支拡張
- d 末梢血管拡張

〔問題 8〕 細胞の変化を図に示す。



この変化はどれか。1つ選べ。

- a 萎縮
- b 再生
- c 過形成
- d 単純肥大

〔問題 9〕 軟組織に生じる嚢胞はどれか。1つ選べ。

- a 含歯性嚢胞
- b 切歯管嚢胞
- c 鼻歯槽嚢胞
- d 術後性上顎嚢胞

〔問題 10〕 エックス線画像 (別冊午後 No.3) を示す。

矢印が示す疾患で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 高齢者に好発する。
- b 歯源性混合腫瘍である。
- c セメント質は含まれない。
- d 顎骨を破壊して浸潤増殖する。

別冊 午後 No.3 写真

〔問題 11〕 ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a DNA ウイルスである。
- b 唾液を介して感染する。
- c 消毒用エタノールは無効である。
- d 標的細胞はヘルパー T 細胞である。

〔問題 12〕 抗原提示細胞はどれか。1つ選べ。

- a B細胞
- b 好中球
- c 好塩基球
- d 肥満細胞

〔問題 13〕 劇薬の表示（別冊午後 No.4）を図に示す。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.4 写真

〔問題 14〕 長期間の使用によって満月様顔貌〈ムーンフェイス〉をきたすのはどれか。

1つ選べ。

- a アスピリン
- b ニフェジピン
- c プレドニゾロン
- d ワルファリンカリウム

〔問題 15〕 抗ウイルス薬はどれか。1つ選べ。

- a アシクロビル
- b アンピシリン
- c アジスロマイシン
- d アンホテリシン B

〔問題 16〕 歯磨剤の基本成分はどれか。2つ選べ。

- a 塩化ナトリウム
- b アルギン酸ナトリウム
- c ピロリン酸ナトリウム
- d ラウリル硫酸ナトリウム

〔問題 17〕 ある中学校の1年生 100名の学校歯科健康診断の集計結果を表に示す。

健全歯数	2,350歯
D歯数	40歯
M歯数	30歯
F歯数	80歯

DMF 歯率（%）はどれか。1つ選べ。

- a 1.5
- b 6.0
- c 15.0
- d 25.0

〔問題 18〕 フッ化物イオン濃度が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a フッ化第一スズ溶液
- b フッ化物バーニッシュ
- c フッ化ジアンミン銀溶液
- d モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤

〔問題 19〕 口腔清掃法と関与するものの組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 化学的清掃法 —— 薬剤配合歯磨剤
- b 機械的清掃法 —— スケーリング
- c 自然的清掃法 —— 唾液
- d 手術的清掃法 —— デンタルフロス

〔問題 20〕 口臭の官能検査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 再現性に優れる。
- b 硫黄化合物を定量できる。
- c 判定基準は6段階である。
- d 真性口臭症の診断の基本となる。

〔問題 21〕 CPI (2013年、WHO) で診査するのはどれか。2つ選べ。

- a BOP
- b 歯の動揺
- c 歯石の付着
- d 歯周ポケットの深さ

〔問題 22〕 歯のフッ素症の指数はどれか。1つ選べ。

- a CFI
- b DAI
- c PHP
- d ICDAS

〔問題 23〕 職業性歯科疾患で、原因物質と疾病・症状を表に示す。

	原因物質	疾病・症状
①	粉塵	歯の摩耗症
②	黄リン	歯の腐食
③	カドミウム	歯頸部の着色
④	酸のガス・ミスト	う蝕

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 24〕 日本における令和6年(2024年)の総人口に占める老年人口の割合で最も近いのはどれか。1つ選べ。

- a 20%
- b 30%
- c 40%
- d 50%

〔問題 25〕 測定器具の図を示す。



暑さ指数(WBGT)を求めるために必要な測定器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 26〕 毒素型食中毒に分類されるのはどれか。2つ選べ。

- a 腸炎ビブリオ
- b ボツリヌス菌
- c 黄色ブドウ球菌
- d サルモネラ属菌

〔問題 27〕 市町村保健センターの業務はどれか。2つ選べ。

- a 廃棄物の処理
- b 人口動態統計調査
- c 妊産婦に対する保健指導
- d 地域住民に密着した健康相談

〔問題 28〕 特定健康診査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 医療保険者が実施する。
- b 受診者全員に特定保健指導が行われる。
- c がんのスクリーニングを目的としている。
- d 対象は40～74歳の医療保険加入者である。

〔問題 29〕 介護保険制度で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 予防給付制度がある。
- b 保険者は都道府県である。
- c 保険料は全国一律である。
- d 介護認定審査会は市町村が設置する。

〔問題 30〕 トリアージタグの図（別冊午後 No.5）を別に示す。

非緊急治療となるトリアージタグはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.5 写真

〔問題 31〕 痛みを訴える患者に対する共感的な対応はどれか。1つ選べ。

- a 「痛いのはつらいですね」
- b 「痛み止めはまだ効きませんか」
- c 「どこがどのように痛みますか」
- d 「痛いのはむし歯を放置したからですよ」

〔問題 32〕 ある容器に表示されているマーク（別冊午後 No.6）を別に示す。

使用後のメスを廃棄すべき容器に表示されているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.6 写真

〔問題 33〕 歯科衛生士の守秘義務の根拠となっているのはどれか。1つ選べ。

- a 刑法
- b 医療法
- c 歯科医師法
- d 歯科衛生士法

〔問題 34〕 歯内療法を行うにあたり、ある画像検査を行った。得られた画像（別冊午後 No.7）を別に示す。

この画像検査で判断できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯根の破折
- b 歯髄の炎症
- c 歯の内部吸収
- d 根尖部の膿の程度

別冊 午後 No.7 写真

〔問題 35〕 触覚機能検査に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a SW テスト
- b サクソンテスト
- c プリックテスト
- d ポリソムノグラフィ

〔問題 36〕 血清中の自己抗体の検査を行うのはどれか。2つ選べ。

- a 梅毒
- b B 型肝炎
- c シェーグレン症候群
- d 全身性エリテマトーデス

〔問題 37〕 全身性炎症反応症候群の診断基準項目はどれか。2つ選べ。

- a 血圧
- b 体温
- c 赤血球数
- d 白血球数

〔問題 38〕 40 歳の男性。下顎右側小白歯部の冷水痛を主訴として来院した。54 には矢印で示す欠損がみられた。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.8）を別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a う蝕
- b 摩耗
- c ブラキシズム
- d 先行乳歯の根尖性歯周炎

別冊 午後 No.8 写真

〔問題 39〕 47歳の男性。下顎左側第二小臼歯の疼痛を主訴として来院した。う蝕除去後にコンポジットレジン修復を行うことになった。歯面にある染色液を使用した後の口腔内写真（別冊午後 No.9）を別に示す。

使用した染色液の成分はどれか。1つ選べ。

- a フロキシシン
- b エリスロシン
- c アシッドレッド
- d フェノールフタレイン

別冊 午後 No.9 写真

〔問題 40〕 38歳の男性。下顎左側第二大臼歯の食事時の鈍痛を主訴として来院した。自発痛はない。歯髄電気診で生活反応を認めた。診断の結果、感染歯質を除去し隔壁を形成後、麻酔抜髄を行うことになった。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.10）を別に示す。

この治療における隔壁形成の目的はどれか。2つ選べ。

- a 咬合の保持
- b 封鎖性の確保
- c 歯冠形態の付与
- d 薬液の漏出防止

別冊 午後 No.10 写真

〔問題 41〕 45歳の女性。上顎左側第二小臼歯の自発痛を主訴として来院した。温刺激および打診に対して敏感に反応する。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.11A）とエックス線画像（別冊午後 No.11B）を別に示す。

考えられる対応はどれか。1つ選べ。

- a 間接覆髄
- b 生活断髄
- c 麻酔抜髄
- d アペキソゲネーシス

別冊 午後 No.11A、B 写真

〔問題 42〕 54歳の女性。前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1年前から高血圧症で薬剤を服用しており、その頃から歯肉の腫れがひどくなったという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.12）を別に示す。

初診時の対応で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉切除
- b 抗菌薬の投与
- c 口腔衛生指導
- d 服用薬の中止

別冊 午後 No.12 写真

〔問題 43〕 52歳の女性。上顎前歯部歯肉の腫脹とブラッシング時出血を訴えて来院した。口唇の乾燥がみられ、上顎口蓋側歯肉に堤状隆起がみられた。鼻閉はない。考えられる対応はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 抗菌薬の投与
- c 口唇閉鎖訓練
- d オーラルスクリーン

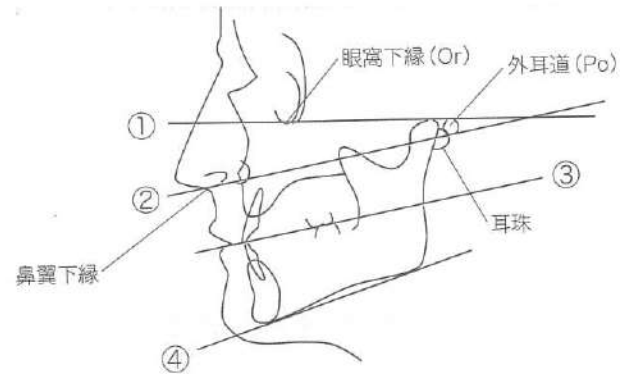
〔問題 44〕 55歳の女性。下顎右側小臼歯部のブラッシング時の疼痛を訴えて来院した。診察の結果、角化歯肉幅の狭小がみられたため、歯周基本治療後に歯周外科手術を行うことになった。外科手術直後の口腔内写真（別冊午後 No.13）を別に示す。

行った手術はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 遊離歯肉移植術
- c 歯肉弁側方移動術
- d 歯肉弁歯冠側移動術

別冊 午後 No.13 写真

〔問題 45〕 顔面の矢状面における模式図を示す。



カンペル平面はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 46〕 歯根・粘膜支持型はどれか。2つ選べ。

- a 全部床義歯
- b インプラント義歯
- c テレスコープ義歯
- d アタッチメント義歯

〔問題 47〕 部分床義歯の写真(別冊午後 No.14A、B)を別に示す。

矢印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 咬合圧の分散
- b 義歯の沈下防止
- c 食片圧入の防止
- d 義歯着脱方向の規制

別冊 午後 No.14A、B 写真

〔問題 48〕 下顎右側大白歯部に装着されたインプラント上部構造の写真(別冊午後 No.15A、B)を別に示す。

Aの装着法がBより優れるのはどれか。1つ選べ。

- a 審美性
- b 生体親和性
- c 患者による清掃性
- d 術者による着脱性

別冊 午後 No.15A、B 写真

〔問題 49〕 59歳の女性。左側頬粘膜部の違和感と接触痛を主訴として来院した。半年前から自覚していたという。生検時の病理組織検査で、上皮直下に帯状のリンパ球浸潤が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 天疱瘡
- b 白板症
- c 扁平苔癬
- d 口腔カンジダ症

別冊 午後 No.16 写真

〔問題 50〕 24歳の女性。下唇の腫瘍を主訴として来院した。1か月前から気付いていたが疼痛がないため放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 血管腫
- b 粘液嚢胞
- c エプーリス
- d アフタ性口内炎

別冊 午後 No.17 写真

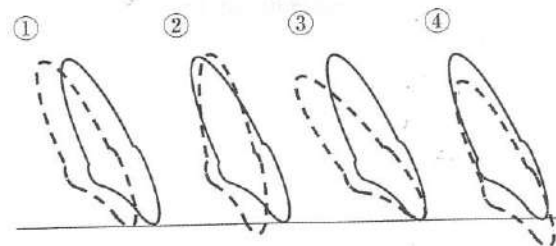
〔問題 51〕 72歳の男性。咽頭部扁平上皮癌のため入院加療中である。下顎左側歯槽部の強い疼痛を訴えているため、口腔健康管理を依頼された。初診時の口腔内写真(ミラー像)(別冊午後 No.18)を別に示す。

周術期の口腔健康管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 硬い歯ブラシを使用する。
- b 口腔ケアは含嗽だけを行う。
- c 低刺激の歯磨剤を使用する。
- d 辛味や酸味のある食べ物は避ける。

別冊 午後 No.18 写真

〔問題 52〕 歯の移動様式を図に示す。

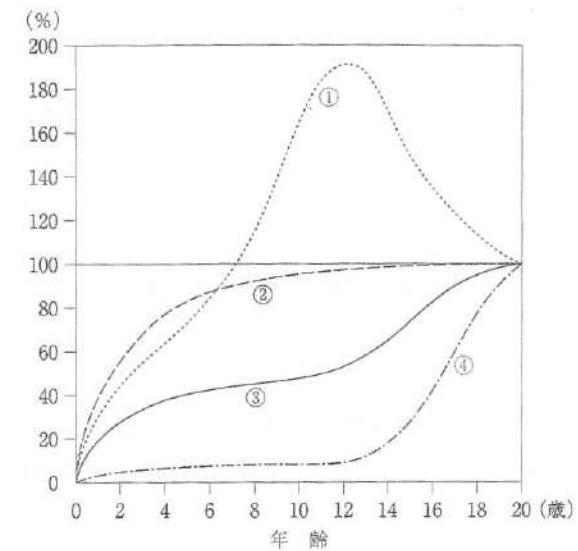


実線：移動前  
破線：移動後

歯体移動はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 53〕 Scammon の発育曲線を図に示す。



③の発育パターンに属するのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎骨
- b 蝶形骨
- c 前頭骨
- d 側頭骨

〔問題 54〕 平行模型について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Angle の不正咬合の分類ができる。
- b 上下顎骨の前後的位置関係を評価できる。
- c 基底面をフランクフルト平面と平行とする。
- d アーチレングスディスクレパンシーを分析できる。

〔問題 55〕 8歳の男児。前歯の反対咬合を主訴として来院した。前歯の被蓋改善のためある矯正装置を製作することとした。製作途中の口腔内写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

考えられる製作はどれか。1つ選べ。

- a ヘッドギア
- b アクチバトール
- c リンガルアーチ
- d マルチブラケット装置

別冊 午後 No.19 写真

〔問題 56〕 3歳の男児。前歯部の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.20）を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 母体の梅毒感染
- b フッ化物の過剰摂取
- c 哺乳ビンの不適切な使用
- d 遺伝性エナメル質形成不全症

別冊 午後 No.20 写真

〔問題 57〕 生後6週の乳児。哺乳困難を主訴として保護者と来院した。1週間前から哺乳を嫌がるという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.21）を別に示す。

舌下部の病変で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a ヘルパンギーナ
- b Koplik 〈コプリック〉斑
- c Bedner 〈ベドナー〉アフタ
- d Riga-Fede 〈リガフェーデ〉病

別冊 午後 No.21 写真

〔問題 58〕 加齢に伴う変化で誤嚥リスク増加と直接関連があるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄腔の狭窄
- b 下顎頭の平坦化
- c 甲状軟骨の下降
- d 口腔粘膜の菲薄化

〔問題 59〕 認知症で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a 脳血管性認知症
- b 前頭側頭型認知症
- c レビー小体型認知症
- d アルツハイマー型認知症

〔問題 60〕 経鼻経管栄養について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 3か月程度でチューブを交換する。
- b 腸管が使用できる場合に適用する。
- c チューブ先端を噴門手前に留置する。
- d 留置のための外科的処置を必要としない。

〔問題 61〕 85歳の男性。訪問歯科診療の依頼があった。長期の喫煙歴がある。訪問時の患者の写真（別冊午後 No.22）を別に示す。

既往歴として最も疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 糖尿病
- b 摂食嚥下障害
- c パーキンソン病
- d 慢性閉塞性肺疾患

別冊 午後 No.22 写真

〔問題 62〕 染色体異常で生じるのはどれか。2つ選べ。

- a ダウン症候群
- b ターナー症候群
- c ラムゼーハント症候群
- d プランマー・ビンソン症候群

〔問題 63〕 クリニカルアタッチメントレベルで判断できるのはどれか。1つ選べ。

- a 付着歯肉の幅
- b 結合組織性付着量
- c 歯周組織の破壊程度
- d ポケット底部の炎症の有無

〔問題 64〕 下顎右側小白歯部のエックス線画像（別冊午後 No.23）を別に示す。

画像から認められるのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕
- b 歯根嚢胞
- c 歯石の付着
- d 歯槽硬線の消失

別冊 午後 No.23 写真

〔問題 65〕 う蝕の第二次予防はどれか。2つ選べ。

- a 予防填塞
- b ブリッジ装着
- c コンポジットレジン修復
- d フッ化ジアンミン銀塗布

〔問題 66〕 歯周炎の増悪因子はどれか。2つ選べ。

- a 根面溝
- b 中心結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

〔問題 67〕 頭頸部腫瘍の放射線治療によってう蝕のリスクが増加する理由はどれか。

1つ選べ。

- a 白血球の減少
- b 不潔域の増加
- c 歯質の耐酸性低下
- d 唾液分泌量の減少

次の文を読み、〔問題 68〕、〔問題 69〕に答えよ。

71歳の女性。歯肉の腫れを主訴として来院した。口腔清掃指導とスケーリング後にSRPを行うことになった。口腔内写真（別冊午後No.24A）とグレーシータイプキュレットの写真（別冊午後No.24B）を別に示す。

別冊 午後 No.24A、B 写真

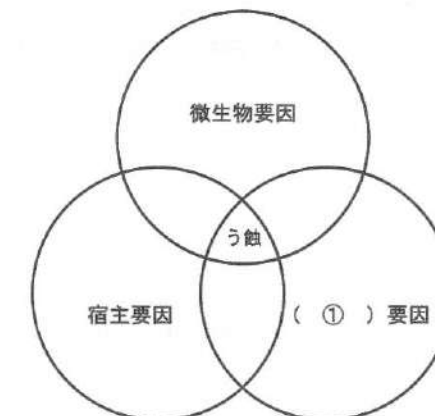
〔問題 68〕 丸印で囲んだ部位に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 69〕 術後に生じやすいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の変色
- b 歯肉の退縮
- c 歯槽骨の吸収
- d 象牙質知覚過敏症

〔問題 70〕 Keyes の3つの輪を図に示す。



①の要因に対する予防はどれか。1つ選べ。

- a PMTC
- b 小窩裂溝填塞
- c 間食回数の制限
- d フッ化物配合歯磨剤の使用

〔問題 71〕 手用スケーラーと比べた超音波スケーラーの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 注水下で用いる。
- b 歯根面の損傷が少ない。
- c 歯石の触知が容易である。
- d 歯肉縁下には使用できない。

〔問題 72〕 PMTC でまず行うのはどれか。1つ選べ。

- a 研磨剤の塗布
- b 歯間部の清掃
- c フッ化物の塗布
- d プラークの染め出し

〔問題 73〕 う蝕活動性試験の結果の写真(別冊午後 No.25)を別に示す。

この試験で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 試験当日に判定できる。
- b 唾液を検体として用いる。
- c 今回の結果は Low と判定する。
- d ミュータンスレンサ球菌数を測定できる。

別冊 午後 No.25 写真

〔問題 74〕 8歳の男児。上顎前歯の変色を主訴として来院した。診察の結果、実質欠損はなかった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b フッ化ジアンミン銀溶液塗布
- c フッ化物配合歯磨剤利用の推奨
- d フッ化物含有セメントによる小窩裂溝填塞

別冊 午後 No.26 写真

〔問題 75〕 フッ化物歯面塗布と比較したフッ化物洗口の利点はどれか。2つ選べ。

- a 費用対効果に優れる。
- b 低年齢児へ適用できる。
- c コミュニティケアが可能である。
- d フッ化物配合歯磨剤と併用できる。

〔問題 76〕 フッ化物応用法とフッ素濃度との組合わせで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯磨剤 ————— 9,000ppm
- b 歯面塗布 ————— 900ppm
- c 洗口週1回法 ————— 450ppm
- d 洗口週5回法 ————— 250ppm

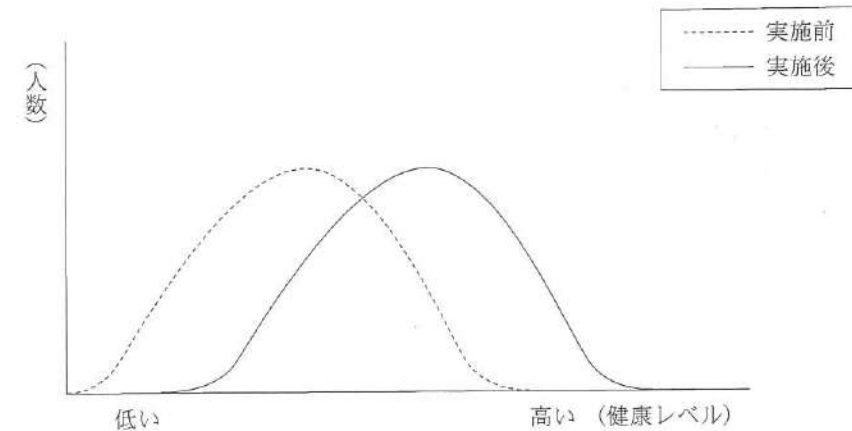
〔問題 77〕 64歳の男性。定期検診のため来院した。歯科医師から根面う蝕予防を目的としたフッ化物歯面塗布を指示された。来院時のエックス線画像(別冊午後 No.27)を別に示す。

使用するものはどれか。1つ選べ。

- a APFゲル
- b NaF溶液
- c  $\text{Na}_2\text{PO}_3\text{F}$
- d  $\text{SnF}_2$ 溶液

別冊 午後 No.27 写真

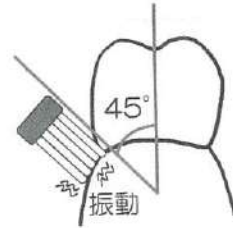
〔問題 78〕 歯科保健活動による小学校全児童の健康レベルの変化パターンを図に示す。



実施したのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕のある児童への治療勧告
- b フッ化物配合歯磨剤の使用の推奨
- c 児童の保護者を対象とした食育教室
- d う蝕活動性の高い児童を対象とした歯磨き指導

〔問題 79〕 あるブラッシング法を図に示す。



正しいのはどれか。1つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c ローリング法
- d スクラビング法

〔問題 80〕 妊娠中の食生活について適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 鉄の付加量は授乳期よりも少ない。
- b 塩分摂取量は 10g/日 を目標とする。
- c 葉酸は妊娠初期の摂取が重要である。
- d エネルギーは妊娠中期の付加量が最も多い。

〔問題 81〕 82歳の男性。脳梗塞のため入院中である。左半身の軽度麻痺、嚥下障害および傾眠傾向が認められる。看護師に誘導されて毎食前に行う歯ブラシを用いた動作の写真（別冊午後 No.28）を別に示す。

この動作で期待されるのはどれか。2つ選べ。

- a 脳梗塞の予防
- b 口腔内感覚の賦活
- c 誤嚥性肺炎の防止
- d Tooth Wear の予防

別冊 午後 No.28 写真

〔問題 82〕 6歳の女児。定期健診のために保護者と来院した。歯磨きは1日2回歯ブラシを用いて本人が行っているという。口腔内写真（別冊午後 No.29）を別に示す。

歯科保健指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 歯間ブラシの使用法
- b フッ化物洗口の開始
- c 保護者による仕上げ磨き
- d バス法によるブラッシング

別冊 午後 No.29 写真

〔問題 83〕 55歳の男性。上顎右側白歯部口蓋側からのブラッシング時の出血を主訴として来院した。患者のプリンクマン指数は600で、歯科受診を契機に1か月以内の禁煙開始を検討している。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.30A）とエックス線画像（別冊午後 No.30B）を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	3	2	④	3	2	2	3	2	3
歯種	7			6			5		
口蓋側*	③	④	⑤	④	④	③	④	④	④
動揺度**	0			0			0		

\* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

\*\* : Miller の判定基準

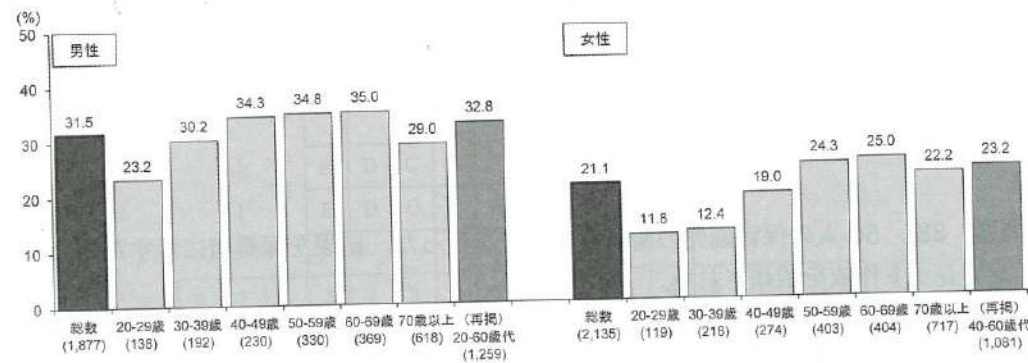
適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 禁煙開始日を決定する。
- b 禁煙補助薬を処方する。
- c 低ニコチンタバコへの変更を勧める。
- d 歯周治療に対する禁煙の効果を説明する。

別冊 午後 No.30A、B 写真



〔問題 90〕 令和 5 年国民健康・栄養調査の結果を図に示す。



グラフが表しているのはどれか。1つ選べ。

- a 肥満者の割合
- b やせの者の割合
- c 習慣的に朝食を欠食する者の割合
- d 体重管理を心がけている者の割合

〔問題 91〕 視覚障害者の誘導方法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 誘導者の肘を握ってもらう。
- b 誘導者が患者の半歩後ろを歩く。
- c 杖を持った手を引いて誘導する。
- d 杖を持たない腕が 90 度になるようにする。

〔問題 92〕 ポリアクリル酸を液の主成分とするのはどれか。2つ選べ。

- a 接着性レジンセメント
- b グラスアイオノマーセメント
- c 酸化亜鉛ユージノールセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

〔問題 93〕 仮封材の写真(別冊午後 No.32)を別に示す。

この仮封材について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 温めて使用する。
- b 練和すると硬化が開始する。
- c 室内の湿気で硬化が開始する。
- d 口腔内での硬化時間は約 3 分間である。

別冊 午後 No.32 写真

〔問題 94〕 印象採得時に用いる器具の写真(別冊午後 No. 33)を別に示す。

さらに準備するのはどれか。1つ選べ。

- a EDTA
- b アドレナリン
- c フッ化ナトリウム
- d 次亜塩素酸ナトリウム

別冊 午後 No.33 写真

〔問題 95〕 55 歳の女性。下顎両側中切歯の変色を主訴として来院した。8 か月前に事故で強打したという。治療前後の口腔内写真(別冊午後 No.34A、B)とエックス線画像(別冊午後 No.34C、D)とを別に示す。

行った処置はどれか。2つ選べ。

- a 歯面の清掃
- b ウォーキングブリーチ法
- c オールセラミッククラウンの装着
- d ポーセレンラミネートベニアの装着

別冊 午後 No.34A、B、C、D 写真

〔問題 96〕 65 歳の女性。上顎前歯部の動揺を主訴として来院した。暫間固定後の口腔内写真(別冊午後 No.35)を別に示す。

使用したのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸
- b クエン酸
- c コンポジットレジン
- d 接着性レジンセメント

別冊 午後 No.35 写真

〔問題 97〕 上下顎の印象採得時の嘔吐反射の防止策で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 鼻呼吸をさせる。
- b 伝達麻酔を応用する。
- c 下顎から印象採得を行う。
- d 患者を水平位にして行う。

〔問題 98〕 70歳の男性。下顎義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。症状改善のためにある処置を行った。処置中の口腔内写真（別冊午後 No.36A）と処置後の義歯の写真（別冊午後 No.36B）を別に示す。

患者指導について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 1週間以内に来院してもらう。
- b 6か月後のリコールに来院してもらう。
- c 義歯用ブラシで床内面を磨いてもらう。
- d 痛いときは床内面の材料をはがしてもらう。

別冊 午後 No.36A、B 写真

〔問題 99〕 22歳の女性。上顎左側側切歯の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 37A）とエックス線画像（別冊午後 No.37B）を別に示す。診断の結果、嚢胞摘出手術を行うことになった。

嚢胞摘出手術に用いる器具はどれか。2つ選べ。

- a 鋭 匙
- b 骨 鋸
- c 消息子
- d 骨膜剥離子

別冊 午後 No.37A、B 写真

〔問題 100〕 器具の写真（別冊午後 No.38）を別に示す。

使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 帯環の賦形
- b 矯正力の測定
- c アーチワイヤーの製作
- d ブラケットの位置決め

別冊 午後 No.38 写真

〔問題 101〕 21歳の男性。矯正装置装着後の口腔内写真（別冊午後 No.39）を別に示す。装着後の患者指導で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 軟らかい粘着性の食品を食べるように指導した。
- b リリーフワックスでの応急処置について説明した。
- c 運動時には外してケースに保管するように指導した。
- d 装着後1か月間の疼痛は生理的なものであると説明した。

別冊 午後 No.39 写真

〔問題 102〕 5歳の男児。歯科健康診査でう蝕の疑いがあり来院した。母親が付き添い、ユニットに座ったところ、歯科衛生士の声掛けに笑顔をみせた。治療についてやさしく説明したところ、興味を示した。

Frankl〈フランクル〉の分類はどれか。1つ選べ。

- a 1度
- b 2度
- c 3度
- d 4度

〔問題 103〕 4歳の男児。歯の萌出遅延を主訴として来院した。抜歯経験はないという。毛髪は薄く、全身的に皮膚は乾燥している。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.40）を別に示す。

診療において留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 照明の明るさ
- b 診療室の温度調節
- c 低酸素発作の出現
- d 号泣による体温変化

別冊 午後 No.40 写真

〔問題 104〕 写真（別冊午後 No.41）を別に示す。

この器材の説明として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患者に装着してもらう。
- b 男性は胸部に装着する。
- c 被曝量が毎日測定できる。
- d 蛍光を発生する現象を利用している。

別冊 午後 No.41 写真

〔問題 105〕 気道異物を除去するために行う処置を図に示す。



この処置はどれか。1つ選べ。

- a ボルヘルス法
- b ハイムリック法
- c ヒポクラテス法
- d ペーパーバック法

〔問題 106〕 「カ」の発音が不明瞭な患者で考えられる機能の低下はどれか。1つ選べ。

- a 咽頭の反射
- b 口唇の閉鎖
- c 舌後方の挙上
- d 舌前方の挙上

〔問題 107〕 摂食嚥下機能のスクリーニングテストを行っている写真（別冊午後 No. 42）を別に示す。

本テストで評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 鼻咽腔閉鎖機能
- b 嚥下直後の呼吸音
- c 不顕性誤嚥の有無
- d 嚥下の随意的な惹起能力

別冊 午後 No.42 写真

〔問題 108〕 加齢に伴う摂食嚥下障害の間接訓練で、口腔期に障害がある場合に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 舌訓練
- b ガムラビング
- c 頭部挙上訓練
- d ペーシング訓練

〔問題 109〕 9歳の女兒。摂食嚥下障害を主訴として来院した。診察の結果、ある装置を製作した。装置を装着した時の口腔内写真（別冊午後 No.43）を別に示す。

この装置によって改善するのはどれか。1つ選べ。

- a 口唇閉鎖不全
- b 喉頭蓋閉鎖不全
- c 鼻咽腔閉鎖不全
- d 食道入口部開大不全

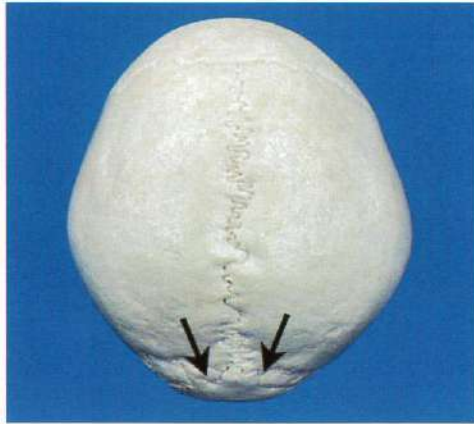
別冊 午後 No.43 写真

〔問題 110〕 摂食嚥下障害に対する機能訓練中の口腔内写真（別冊午後 No.44）を別に示す。

行っているのはどれか。1つ選べ。

- a シャキア法
- b 冷圧刺激法
- c プッシング訓練
- d メンデルソン手技

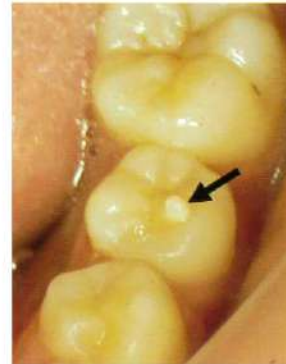
別冊 午後 No.44 写真



午後 No.1



午後 No.3



午後 No.2

①



黒地、枠なし、白字

②



白地、黒枠、黒字

③



赤地、枠なし、白字

④



白地、赤枠、赤字

午後 No.4

①

トリアージタグ

氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)
傷病 (Injury)	病歴 (Medical History)	アレルギー (Allergy)
治療 (Treatment)	輸血 (Blood Transfusion)	備考 (Remarks)

②

トリアージタグ

氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)
傷病 (Injury)	病歴 (Medical History)	アレルギー (Allergy)
治療 (Treatment)	輸血 (Blood Transfusion)	備考 (Remarks)

③

トリアージタグ

氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)
傷病 (Injury)	病歴 (Medical History)	アレルギー (Allergy)
治療 (Treatment)	輸血 (Blood Transfusion)	備考 (Remarks)

④

トリアージタグ

氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)
傷病 (Injury)	病歴 (Medical History)	アレルギー (Allergy)
治療 (Treatment)	輸血 (Blood Transfusion)	備考 (Remarks)

午後 No.5



①



②



③

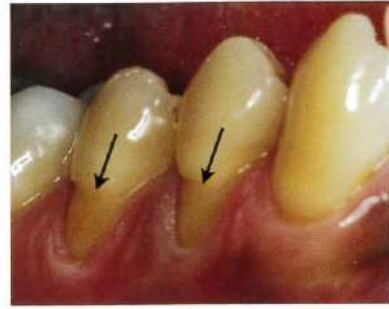


④

午後 No.6



午後 No.7



午後 No.8



午後 No.9



午後 No.10



A

午後 No.11



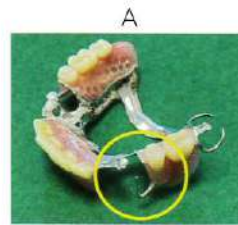
B



午後 No.12



午後 No.13



A

午後 No.14



B



A

午後 No.15



B



午後 No.16



午後 No.17



午後 No.18 (ミラー像)



午後 No.19



午後 No.20



午後 No.21

35

第2回 全国統一模擬試験

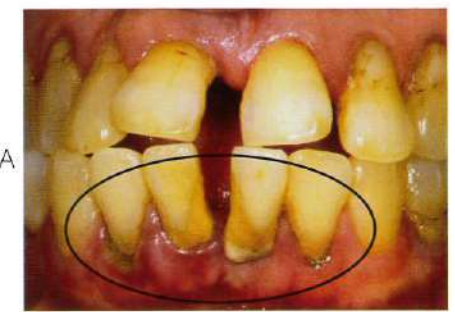
別冊 午後



午後 No.22

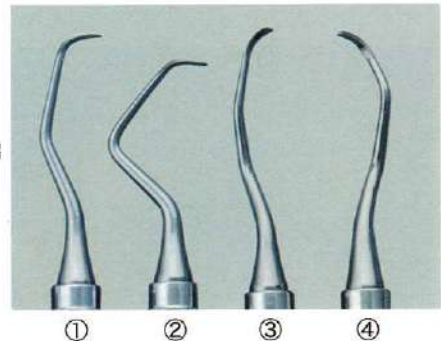


午後 No.23

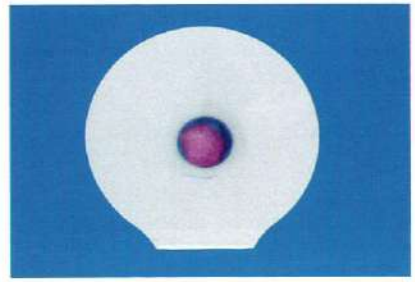


A

午後 No.24



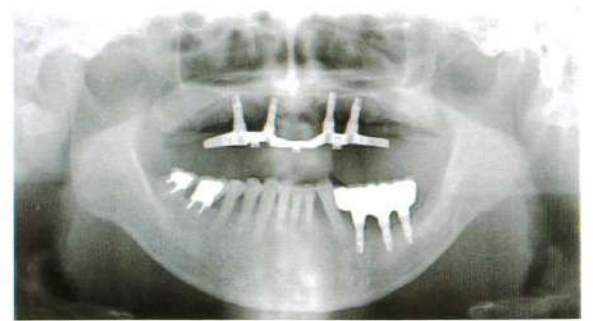
B



午後 No.25



午後 No.26



午後 No.27

35

第2回 全国統一模擬試験

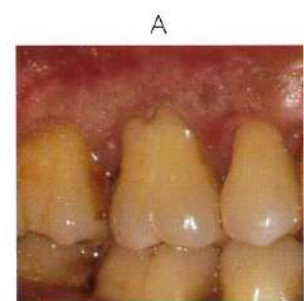
別冊 午後



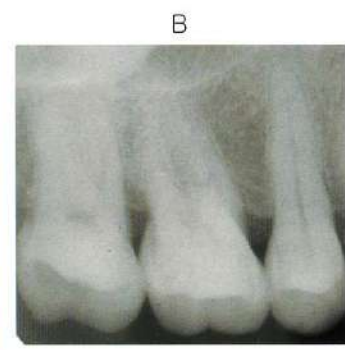
午後 No.28



午後 No.29



A



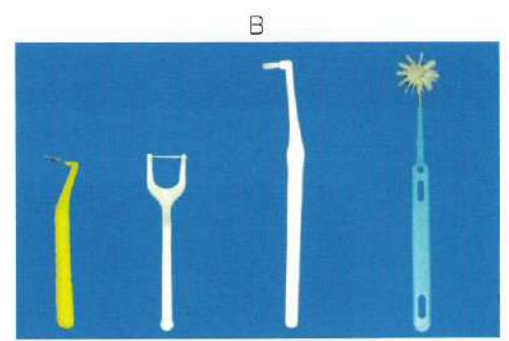
B



午後 No.30



A



B

午後 No.31

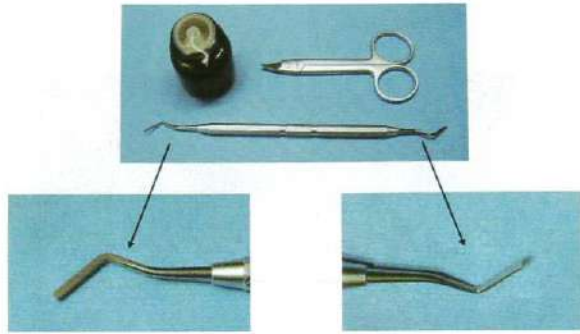


午後 No.32

35

第2回 全国統一模擬試験

別冊 午後



午後 No.33

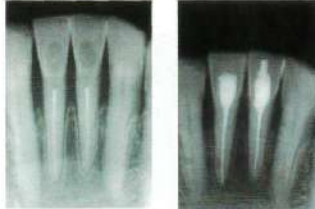
A (治療前)



B (治療後)



C (治療前) D (治療後)



午後 No.34



午後 No.35



午後 No.36



午後 No.37



35

第2回 全国統一模擬試験

別冊 午後



午後 No.38



午後 No.39



午後 No.40



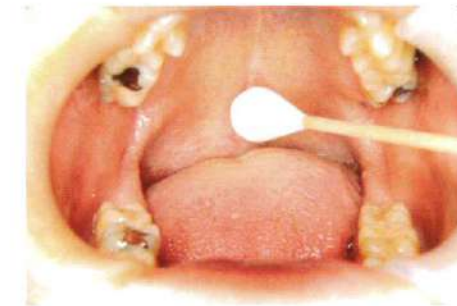
午後 No.41



午後 No.42



午後 No.43



午後 No.44